

2007年12月19日

各位

会社名 スミダコーポレーション株式会社
代表者名 代表執行役CEO 八幡 滋行
(コード 6817 東証第一部)
問合せ先 コーポレートオフィス 藤 縄 徹
オフィサー
(TEL. 03-3272-7801)

シンテックス社との技術援助契約等の解除の決定に関するお知らせ

当社は、当社グループの事業統括会社である SEC 株式会社（以下「SECL」）および当社グループの完全子会社である Sumida Shintex Company Limited（以下「SSCL」）が、株式会社シンテックス（以下「シンテックス社」）との間で取り交した LCD 関連モジュール事業に関する技術援助契約等の解除を本日決定いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 技術援助契約等の解除の理由

SECL は、シンテックス社との間で LCD 関連モジュールの受託生産・販売のため 2006 年 7 月に合弁会社 SSCL を設立し、中国広東省広州市において LCD 関連モジュール事業を開始いたしました。その後、SSCL は、2007 年 4 月より当社グループの 100%出資子会社として、シンテックス社と技術援助を通じた関係を維持しつつ、技術面でのノウハウを蓄積し事業を行って参りました。しかしながらこの度、シンテックス社は、事業低迷により自己破産の申立てを行うことを決定したため、SECL および SSCL は、シンテックス社との技術援助契約その他当社グループとシンテックス社との LCD 関連モジュール事業に関する諸契約の解除を決定するに至りました。

2. SSCL 事業の継続

SSCL につきましては、「Sumida LCM Company Limited」と社名変更し、当社グループの 100%出資子会社として、これまで蓄積してきた技術面でのノウハウと当社グループの営業ネットワークにより今後も事業を継続していく方針です。

3. 当社業績に与える影響

SECL は、当初合弁事業の開始にあたり、シンテックス社に対し出資をいたしました（同社発行済株式の 27.7%）。今般の同社の破産手続きに伴い、2007 年 12 月期第 4 四半期において 170 百万円の投資有価証券評価損を計上する予定ですが、通期連結業績に与える影響は軽微であります。

以上